

令和元年度 久留米市文化芸術振興審議会 第4回会議 議事録

1 開催日時

令和元年 12 月 26 日（木） 10 時 30～11 時 50 分

2 会場

久留米市役所本庁舎 3 階 308 会議室

3 出席委員（順不同） ※11 名

木藤委員（会長）、木村委員（副会長）、井原委員、上田委員、片山委員、大倉委員、古賀委員
濱田委員、福田委員、前原委員、矢次委員

4 欠席委員 なし

5 事務局 ※10 名

市民文化部 竹村文化芸術担当部長、西村次長

文化振興課 土居課長、小野課長補佐、新郷主査、中園主任主事

文化財保護課 水島課長

久留米シティプラザ 大宝課長補佐

公益財団法人久留米文化振興会 井上事務局長、隈課長補佐

6 議事次第

1 開会

2 協議事項

（1）次期基本計画の原案について

3 その他

4 閉会

議事録

1 開会

- 事務局より、過半数の委員が出席しており、会議が成立していることを報告。

2 協議事項

(1) 「次期基本計画の原案」について

- 事務局より、資料3～5に基づき、久留米市新総合計画における久留米市文化芸術振興基本計画の、体系的な位置付け等について説明。

※ 意見なし。

- 事務局より、資料1及び資料2に基づき、第3回審議会での意見、庁内各部局の意見、議会からの意見の反映状況等について説明。

※ 資料1については、意見なし。

質疑

○ 前原委員

- ・ 表紙の、アイキャッチ的な部分だが、もう少し人の顔が欲しい。人間都市なので、自然というよりは、もう少し、あと1枚くらいは人の顔が欲しいなと思う。

● 事務局

- ・ シティプラザでやっている大人向けのアウトリーチ、福祉施設での音楽のアウトリーチ写真で等で工夫したい。

○ 井原委員

- ・ 気になったのは、P28とP29。基本計画の概要が見開きで、左右にページ配分されていると、非常に見やすいのではないかと思う。

● 事務局

- ・ 検討をさせていただきたい。

- 事務局より、資料6に基づき、サブタイトル案について説明。

質疑

○ 大倉委員

- ・ 現在の案の「心ときめく」というのは、どちらかという、感情の部分、心の問題なので、もし可能であれば、「未来につながる」とか「未来に広がる」とか、そのような子どもたちの未来も広がるし、久留米市の未来も広がるような、今後の経済とか生活とか生き方にもつながるような「未来につながる文化創造都市を目指して」とか「未来に広がる文化創造都市を目指して」とか、そのようなコピーがよいのではないかと思った。

○ 上田委員

- ・ 私は事務局案の4がよいと思う。他の案は文章になっていて、読まなければ理解できないが、案4は、単語が並べられていて、簡潔に理解できる。そのような点で4がよいと感じた。

- 前原委員
 - ・ 「…目指して」という文言が、先につながっていくようなイメージが自分の中にはある。「ここを目指して、自分たちはこれをしていくのだよ。」というような意識付けにもなるのかなという思いもあって、「目指して」という言葉が私は好きである。また、「未来につながる」とか、「未来に広がる」という言葉は非常によいと思う。
- 矢次委員
 - ・ 「サブタイトルをなぜ付けるのか。」という意味を整理する必要がある。入れたい言葉をどんどん出すと限りがないので、いかがなものかと。どういう意味でサブタイトルを付けましょうかという点を整理すれば、ある程度、方向性は決まってくるのではないかと思う。
- 濱田委員
 - ・ 主役は市民であるということがわかるサブタイトルがよいのではないかと思う。事務局案の1の「心ときめく文化創造都市」というのは、私はよいなと思っているが、未来という言葉聞いてなるほどと思った。そこれで「未来を紡ぐ」とか、久留米餅とかけてもよいのではないか。
- 前原委員
 - ・ サブタイトルがあることで、何か市民よりになるというか、私たちにわかりやすい、事務的な仕事ではない感じ・感覚があるのかなと感じる。身近に感じる、惹き寄せられるというような感覚がある。「…基本計画」だけだと、固い感じがする。
- 木村委員
 - ・ 私は「久留米」という言葉を入れたい。事務局案でいうと、3・4のような「久留米」という言葉が入っているほうがよいのではないかと思う。
- 古賀委員
 - ・ 「文化創造都市」という言葉が、今まで議論している我々だと頭に入ると思うが、普通の人**が**ぱっと見たときに、頭に入るのかなとは思**う**。もう少し崩して「文化芸術のまち」等に変えたほうが、まだよいのかなと思った。
- 井原委員
 - ・ 「文化芸術創造都市」とは、世界的にも「文化芸術と産業経済との創造性に富んだ都市」という意味。創造都市ネットワークという組織についても、福岡県内では最初に久留米市が参加している。こういう都市を目指しますという象徴的な言葉。横浜市のように、文化と産業を融合させた創造性豊かな街を目指しましょうという言葉で、ユネスコでも見直されて、世界的にも進められている言葉。この「文化創造都市」という言葉は、大事にしていきたいと思う。
 - ・ 「市民にとっては、非常に固い。」という感覚は非常にわかるが、それでも「みんなで考えよう。」という意味では、その言葉を使ってもよいのではないかと思う。久留米市は、非常に素晴らしい美術館もあるし、シティプラザもある。芸術を見ることによって、市民が何かを感じ、そして、市民がそれを工芸品とか、産業などに生かしてく、そういう相乗作用というものを考えるのであれば、「感動・ときめき」というか、お互い刺激しあうという意味で、そういうものも必要ではないかと思う。それと、未来への継続性を象徴しているのではないかという点、未来志向という意味でも、案1でもよいのかなと思う。

■ 事務局

- ・ 前回からの議論も踏まえて、サブタイトルがあった方がわかりやすいということで、案を出させていただいているが、ご検討いただく際に念頭に置いていただきたいのは、「市民が主役の楽しい文化創造都市・久留米」という理念とサブタイトルとの混乱というか、同じような言葉が並ぶと、逆にわかりにくくなるようなことにもなるのかなど、少し懸念もある。そこも含めてご議論いただきたいと思う。

○ 片山委員

- ・ 今の意見を踏まえ、また、「何のためのサブタイトルか」という点も踏まえて発言すると、私は「計画の内容を、簡潔に表す。」という視点に立つ。確かに一言で表すのは難しいが、文化芸術振興基本計画についてのコピーというよりは、中身を表す見出しというような性格のものがよいのではないかと考えている。そういう点でいうと、やはり「…目指して」と付いた方がよいのではないか。

○ 木藤会長

- ・ サブタイトルについては、私としては、長さとしては短い方が適当なのかなとも思う。いろいろ省く単語もあるかと思うが、その原型になるのは、勝手ながら、案1ということになるのではないかと思う。

■ 事務局

- ・ 事務局で引き取って、ご意見を踏まえた案を取りまとめ、ご提案したいと思うが如何か。

○ 木藤会長

- ・ 助かる。最終的には、挙手・多数決のようなかたちになってしまうかもしれないが、事務局で調整をお願いします。サブタイトルについては、以上とする。それでは、全体を通して何か意見等はないか。無ければ、本日の審議は終了する。
- ・ 資料1で事務局から説明があったように、1月中旬から1か月間、市民の意見を聴取するパブリック・コメントの実施が予定されている。本来ならば、本日のご意見に関する計画の反映状況について、再度審議会に諮ったうえでその手続きを進めるべきかと思うが、その時間は無い。今回の意見については、事務局で整理したうえで、会長である私しで反映状況を確認し、その原案をもってパブリック・コメントの手続きを進めるという、いわゆる「会長に一任する」というかたちを取らせていただいでよいか。(委員全員了承)

3 その他

- 第3回会議の議事録、会議資料の公表についての確認
- 今後の進め方、次回の審議会開催に係る日程調整について連絡

4 閉会

○ 木藤会長

- ・ 閉会の挨拶

以上